

# 南陵通信

なんりよう

第2号

平成23年  
7月発行  
長野南高校

## 全国大会出場 おめでとう

### 男・女ハンドボール アーチェリー女子個人



五月二十二日に行われた県高校総体のアーチェリー女子個人で本校三年の神林かなえさんが見事県一位に、そして六月五日に行われたハンドボール決勝では、男女アベック優勝の快挙で、共にインターハイ出場を決めました。

#### アーチェリー部 神林 かなえ

5月の県校体では、優勝することができましたが、寒さが影響して思うようにうてなかつたり、気の緩みからミスが出てしまふことがありました。インターハイでは県総体での反省を生かし、また、暑さ対策をしっかりとし、一射一射集中して丁寧なうてよう心掛けて、スコアを伸ばしたいと思ひます。他にもメンタル面での強化や、筋力作りを心掛けていきます。そしてインターハイでは、どんな条件でも練習通りの成績を出せるよう、上位を目指したいと思ひます。最後のインターハイなので三年間努力してきた成果をしっかりと出し切り、精一杯頑張つて来ます。

#### 女子ハンドボール部 西野入まなみ

私達は県大会一位という成績を残すことができましたが、冬の大会では後一步というところで悔し涙を流しました。そしてそれをバネにして今まで頑張つてきました。毎日夜遅くまで練習し、清水先生にも何度も怒られ、辛い時もたくさんあつて投げ出したい時もあったけど、仲間がいたから乗り越えることができました。県大会は楽な試合はなかつたけれど、今までやってきたことは出せたので、インターハイでも自分達の練習の成果を出し切りたいと思ひます。応援よろしくお願ひします。

## 体験入学のお知らせ

### 実施日 8月2日(火)

時間	内容
8:40~9:00	受付 (20分)
9:05~10:05	全体会 (60分)
10:20~11:10	体験学習・懇談会 (50分)
11:15~11:45	クラブ見学・施設見学 (30分)
11:50~12:00	アンケート (10分)

上履きを持参して下さい

#### 問合せ先

教頭 荒木 博明  
教務 玉井比朗  
Tel 026-284-8850  
(学校代表)  
Tel 026-284-8851  
(教務室)



# こんな長南に来てほしい

進路指導主事 山本 寛



今年の三月に卒業生を出して、四月から進路指導室に入りました。

前任校から転勤して即、担任となった頃、当時の中学生のブログなどでは『長南は勉強しなくていいし、生活指導もゆるいから楽勝！』などと書かれていて、何とかこの雰囲気を変えたい、と考えていました。そこでまず、生徒指導に手をつけ、妥協することなく三年間指導を続けた結果、外見上は一変したと言ってもよいほど変わりました。

そこで今度は、進路指導です。本校はこれまで、大学進学にはさほどこだわってこなかったようです。しかし、来年度には創立三〇周年を控え、また統廃合問題も完全には消滅していない今、大学への進学率を向上させて、旧第四通学区の第三の進学校としての性格を明確にしたいと考えています。そのために、

- ① 授業を大切にします。
  - ② 一日二時間程度の家庭学習をするために宿題を課す。
  - ③ 進学希望者のための補習の充実。
  - ④ 模擬試験・諸検定を頑張らせる。
- ④ ということを本校では重視します。
- 中学校時代の学び直しにも力を入れています。大学に行きたいけれど、苦手教科がある、でも高校に行ったら勉強頑張ると考えている生徒諸君、生徒指導も学習指導も厳しいけれど、こんな長南で頑張ってみませんか？

## 実習生の研究授業



数学の授業をする川谷さん

教職めざし教育実習生奮闘

私は、今回の教育実習で多くのことを学びました。まず初めに、自分の実習教科について理解していることと、教えるということとは全く別であることを実感しました。実習の最初の週では、数学科の先生方の授業を見学させて頂いたのですが、教える側としての視点で授業を見たとき、一つの単元を教える中でも様々な工夫がされていることに気づき、自分が生徒であった頃には知ることのできなかった生徒への気遣いを感じ、改めて教職というものの難しさを知りました。私がこうして大学に通い教育実習を行えるのも、先生方のお陰であり、今度は自分が、先生方からして頂いたことを生徒達にしてあげたいと思います。

## 一円玉募金大運動



公開日 7月10日(日)

## 『小さな気持ちも一杯集まれば大きな力に』

三月十一日に起きた東日本巨大地震でたくさんの方々が今も生活に苦しんでいます。原発にも悩まされる日々の中、同じ日本で私達は普通に生活しています。今回私達執行部は一円玉募金大運動を実施、『小さな気持ちも一杯集まれば、大きな力になれるはず』を合い言葉に、被災者へ向けてエールを送りたいと思っています。私達の一言が、私達の想いが、届いた時少しでも希望の手助けになりたいと思っています。学校全体が一つになって何かをやるチャンスであるこの文化祭で、私達長南生にしか出来ないエールをしっかりと送りたいと思います。南陵祭の主役は我々生徒一人ひとりです。執行部一同東日本大震災と向き合った文化祭になるよう精一杯頑張りたいです。

南陵祭にかける思い

実行委員長 石原麻衣

南陵祭まで後十日あまりですが、今年の文化祭は今までとは違うと私は思っています。

三月十一日に起きた東日本巨大地震でたくさんの方々が今も生活に苦しんでいます。原発にも悩まされる日々の中、同じ日本で私達は普通に生活しています。今回私達執行部は一円玉募金大運動を実施、『小さな気持ちも一杯集まれば、大きな力になれるはず』を合い言葉に、被災者へ向けてエールを送りたいと思っています。私達の一言が、私達の想いが、届いた時少しでも希望の手助けになりたいと思っています。学校全体が一つになって何かをやるチャンスであるこの文化祭で、私達長南生にしか出来ないエールをしっかりと送りたいと思います。南陵祭の主役は我々生徒一人ひとりです。執行部一同東日本大震災と向き合った文化祭になるよう精一杯頑張りたいです。